

インターネット系拡張子

拡張子名(読み方)	拡張子の具体的な説明	マメ知識
.arc(アーク)	「PKARC」の開発元であるPKWARE社の開発した圧縮方式のファイルに付けられる。	「ARC」「PKARC」といったソフトで対応できる。
.arj(エーアールジェー)	「ARJ」という海外製のソフトで作られた圧縮ファイル。	MS-DOSのコマンドラインから圧縮/解凍する。
.cab(キャブ)	ウインドウズ95で使用されるキャビネット(圧縮)形式のファイルにつく拡張子。	95のセットアップCD-ROM内にあり、システムファイルなどが圧縮されている。
.cpt(シーピーティ)	マッキントッシュ用の「CompacPro」というソフトで作られた圧縮ファイル。	残念ながら、ウインドウズ95では解凍不可能。
.gz(ジーゼット)	圧縮ファイル形式の一種。ユニックス系の環境でよく使われており、「GZIP」というソフトで作成される。	ユニックスではファイル名の制限がないので、「・・・tar.gz」「・・・tar.z」といった拡張子がつくこともある。
.hqx(ヘックス)	バイナリファイルをテキストに変換したファイル形式。マッキントッシュでよく使われる。	電子メールで使われている「BinHex」とはこの形式のこと。
.htm(エイチティーエム)	インターネットのホームページを記述するための形式。 基本的にはテキストファイル。「>」「<」という記号(タグ)に囲まれた命令文で構成されている。	「html」という拡張子がつく場合もあるが中身は一緒。 MS-DOS拡張子の原則である3文字に合わせているだけ。
.idx(インデックス)	「インターネットメール」や「アウトLOOKエクスプレス」用ファイルに付く拡張子。	中身は受信したメールのインデックス情報ファイル。
.isi(イシ)	バイナリファイルをテキストに変換したファイル形式。	MS-DOS時代は頻繁に使われていたが、最近はあまり使用されていない。
.lzh(エルゼットエイチ)	「LHarc」や「LHA」といった圧縮ソフトで作られたファイルに付けられる。	日本のネットワーク上ではもともとポピュラーな圧縮形式。
.mbx(エムビーエックス)	「インターネットメール」や「アウトLOOKエクスプレス」用ファイルに付く拡張子。	拡張子「.idx」のファイルと一緒に作成される。メールの内容が保存されている。
.pst(ピーエステイ)	「受信トレイ」が受信したメールを保存しておくファイルに付く拡張子。	これを削除すると受信したメールはすべて削除されるので気をつけよう。
.rar(アールエーアール)	「WINRAR」というソフトによって圧縮されたファイルにつく拡張子。ZIP、LZH形式を凌ぐ脅威の圧縮率を誇る。ファイルを分割して圧縮する事もでき、その場合にはr00、r01、r02、・・・、rarというファイルが作られる。	「WINRAR」で解凍できる。rarファイルを解凍すればr00、r01、r02、・・・のファイルも自動的に結合されて解凍される。また、ファイルがあまりに巨大な場合はr00、r01、r02、・・・、s00、s01、s02、・・・、rarという具合にファイルが分割され
.sit(シット)	「スタフフィット」という圧縮ソフトで作られたファイルに付く拡張子。アップルコンピュータ社の「マッキントッシュ」で広く使われている。	ウインドウズ95対応の同名のソフトで解凍できる。「スタフフィット」を発売している会社のホームページから入手できる。
.tar(ター)	「TAR」というユニックス上で使われているツールでまとめられたファイル。	「TAR」はそれぞれのファイルを結合するだけなので厳密には圧縮ソフトではない。
.uu(ユーユー)	バイナリファイルをテキストに変換したファイル形式。	電子メールで使われる[Uuencode]はこの拡張子が慣例的に付けられる。
.wab(ワブ)	「インターネットメール」などが使うアドレス帳用データファイル。	蓄積したアドレスデータがはいっているのでこまめにバックアップしておこう。
.wri(ダブルアールエル)	WWWブラウザで表示される3Dグラフィックデータファイル。「.vrml」という拡張子となることもある。	ちなみにVRML(バイアールエムエル)とはバーチャル・リアリティ・モデリング・ランゲージの略。
.zip(ジップ)	PKWARE社が開発した。インターネット上で標準的な圧縮方式。世界中で使われている。	「PKZIP」「WINZIP」などで圧縮および解凍ができる。
.zoo(ズー)	「ZOO」という圧縮プログラムで作られたファイルに付けられる拡張子。	MS-DOSが全盛期の時代に使われていたが、最近はほとんど使用されていない。

画像ファイル系拡張子

拡張子名(読み方)	拡張子の具体的な説明	対応アプリケーション(代表的なソフト)
.ai(エーアイ)	アドビシステムズ社の「アドビ イラストレーター」で作ったファイルにつく拡張子。	アドビシステム社の「イラストレーター」
.bmp(ビーエムピー)	ウインドウズ95で使われている標準的な画像フォーマット。	「ペイント」「イメージグ」
.dib(ディアイビー)	デバイス・インデペンデント・ビットマップ。 基本的には「.bmp」と同じ形式。	ウインドウズ95付属の「ペイント」、OSR2付属の「イメージング」
.eps(イーピーエス)	DTPの分野で多用される画像フォーマット。 ウインドウズ95ではあまり使われない。	アドビシステム社の「アドビ フォトショップ」
.gif(ジフ)	アメリカのネットワーク会社コンピュサーブ社の定めたファイル形式。8ビット(256)までの画像が保存できる。	アニメーションGIFなど様々な種類がある。 「インターネットエクスプローラ」
.ico(アイコン)	アイコンファイル。ウインドウズの画像に表示される。 アイコンの画像データ。	基本的にビットマップなので、「.bmp」と同じ。
.jpg(ジェイペグ)	写真系の画像に威力を発揮する圧縮型画像ファイル。 フルカラー専用。同じタイプとして「jiff」「jpeg」もある。	「イメージング」 「インターネットエクスプローラ」
.pcx(ピーシーエックス)	ゼットソフト社の「ペイントブラシ」というソフトで使用されるビットマップのファイル形式。	「ペイント」「イメージング」 海外では多用されている。
.png(ピーエヌジー)	コンピュータの性能の向上に伴いGIF形式の限界と問題を解決するために開発された。	アドビシステム社の「アドビ フォトショップ」
.psd(ピーエスディ)	アドビシステム社の「アドビ フォトショップ」で作成されたファイルにつけられる。 同アプリケーションで使われる情報がすべて保存されている。	アドビシステム社の「アドビ フォトショップ」
.tif(ティフ)	アルダス社が開発した画像ファイル形式。 「tiff」という拡張子となることもある。	「イメージング」
.wmf(ダブルエムエフ)	ウインドウズ95のもう一つの標準的なファイル形式。 正式には「マイクロソフトウインドウズメタファイル」という。	ウインドウズ95付属の「ペイント」, 「クイックビューワ」。 メッツ社の「ペイントショッププロ」も対応。
.cdr(シーディアール)	コーレル社の「コーレルドロー!」で使われるファイル形式につく拡張子。	コーレル社の「コーレルドロー!」
.cmx(シーエムエックス)	コーレル社の「コーレルドロー!」で使われているラスターフォーマット形式の画像ファイルにつく拡張子。	コーレル社の「コーレルドロー!」

マルチメディア系拡張子

拡張子名(読み方)	拡張子の具体的な説明	マメ知識
.aif(エーアイエフ)	アップルコンピュータ社のマッキントッシュで使われるオーディオファイル形式。	同タイプに「.aiff」「.aifc」という拡張子が見つかる場合もある。
.art(アート)	「マイクロソフト クリップアート」で使われる画像ファイル。	「マイクロソフト オフィス」のセットアップCDに、このファイルが入っている。
.au(エーユー)	ユニックスで使われているオーディオファイル形式。	インターネットのホームページでたまに使用されていることがある。
.avi(エーブイアイ)	ウインドウズ95の標準的なビデオファイル形式。	「メディアプレーヤー」、「アクティブムービー」で再生可能。
.cda(シーディーエー)	CDオーディオファイル。エクスプローラでオーディオCDを開くとこのファイルがトラック単位で表示される。	中身はオーディオデータではなく、ただのインデックスファイル。これをハードディスクにコピーしてもオーディオCDがないと意味がない。
.Idf(アイディエフ)	MIDI音源の定義ファイルにつく拡張子。MIDI音源をウインドウズ95に登録する際に使用されるインフォメーションファイル。	ウインドウズ95には標準で「General.Idf」というファイルが入っている。しかし、MIDI機器を使わない場合は基本的に編集する必要がないファイル。
.mid(ミディ)	ミディファイル。専用の音源を使用してデータを再生する。	同タイプで「.std」「.rmi」「.mif」ファイルもある。メディアプレーヤーで再生可能。
.mov(ムービー)	アップル社のクイックタイムで作られたビデオファイル形式。	「.moov」「.qt」という拡張子になることもある。アクティブムービーで再生可能。
.mp3(エムピーエスリー)	MPEG3形式で圧縮されたサウンドファイルの拡張子。音楽CDに匹敵するクオリティで再生可能。	無圧縮の「.wav」ファイルに比べて、サイズが約10分の1になる。
.mpg(エムペグ)	MPEG1形式で圧縮された動画ファイル形式。伸長しながら再生が行われる。ウインドウズ95では「アクティブムービー」で開くことができる。	「.mpe」「.mpa」「.m1v」「.enc」「.dat」「.mpeg」という拡張子になる場合もある。DVDで使われているフォーマット「MPEG2」の場合「.mp2」となる。
.pal(パル)	パレットデータ。ウインドウズ95のデスクトップカラーファイルにつく拡張子。	「マイクロソフト プラス!」のテーマファイルから参照されている。
.ra(アールエー)	リアルネットワークス社のインターネット用オーディオ再生シフト。「リアルオーディオプレーヤー」の音声データにつく拡張子。	インターネット上で「リアルオーディオ」のファイルを開くときは、一度、拡張子「.ram」という定義ファイルを読み込んでいる。
.snd(エスエヌディ)	コモドール社製のパソコン「アミーガ」で使われていたサウンドファイルにつく拡張子。	「アクティブムービー」で再生可能。
.wav(ウエーブ)	ウインドウズ95標準の音声フォーマット。ウインドウズ95の起動音などもこれ。	ウインドウズ95付属の「サウンドレコーダー」を使えば、好きなサウンドファイルを作れる。

システムファイル系拡張子

拡張子名(読み方)	拡張子の具体的な説明	マメ知識
.000(ゼロゼロゼロ)	「ビジュアルベーシック」の作るテンポラリファイルや、アプリケーション/ドライバソフトがインストールされた時に作るバックアップファイルにつく拡張子。	一度、別のフォルダに移動して問題がないようならば削除しよう。
.386(サンハチロク)	仮想デバイスドライバソフト。16ビットアプリケーションで利用される各種のドライバソフトの拡張子。	重要なシステムファイルなので扱いに注意しよう。もちろん削除は厳禁。
.3gr(スクリーングラバー)	ペンタゴンソフトは「ソフト・ソヘヨウの画面を保存し、MS-DOSセッションを終了後、ウインドウズを元の画面に復元させるためのシステムファイルにつく拡張子。	MS-DOSモードが英語画面表示から切りかわらなくなったら、このファイルを再インストールしてみよう。
.932(キューサンニ)	NET.EXEから参照されるヘルプファイルに付く拡張子。	NET.EXEを削除することがあるなら、これも一緒に削除しよう。
.acm(エーシーエム)	オーディオ圧縮ファイルに付く拡張子。サウンドファイルを鳴らす時に使用されている。	圧縮されたオーディオファイルはこれをもとにメモリ上に展開して、音を再生している。
.acv(エーシーヴイ)	米クリエイティブメディア社のオーディオ圧縮ファイルに付く拡張子。	「サウンドブラスター」を使っていない場合、このファイルは存在しない。
.axd(エーダブルディ)	ウインドウズ95付属の「マイクロソフト ファックス」で受信したデータに付く拡張子。	受信データは「イメージング」で開く時、きれいに表示される。
.bak(バック)	バックアップファイルに付けられることが多い拡張子。	中身を確認して問題がなければ削除しよう。
.bfc(ビーエフシー)	「ブリーフケース」のファイルに付く拡張子。	デスクトップにある「ブリーフケース」は、右クリックの「新規作成」で簡単に作れるので、不要な時は削除してもよい。
.cal(カル)	ウインドウズ3.1に付属の「カレンダー」のデータファイルの拡張子。	「カレンダー」を使っていない人は不要なので削除してしまおう。
.cb(シービー)	Win. iniファイルベーステキストファイル拡張子。	テキストファイル。ウインドウズの再構築に使われる。非常に重要。
.chk(チェック)	MS-DOSやウインドウズ95の「スキャンデスク」を実行した時に破損ファイルに付く拡張子。	「チェック」を「詳細のオプション」に、「破損ファイルの削除」を「ファイルに変換」するというオプションをチェックしてある場合に生成されるのでチェックは必ず「チェック」をウインドウズ95のセットアップCDに入っている「クリップブックビューワ」を使えば、複数のコピーが取れる。ただしCD内に入っていないことのある。
.clp(クリップ)	ウインドウズの「クリップボード」の内容をセーブした時に作られるファイルに付く拡張子。	「送付状エディタ」でオリジナルのファイルも作れる。
.cpe(シーピーイー)	ウインドウズ95付属の「ファックス」で使われるカバーファイル。	拡張子「.cpl」のファイルをシステムフォルダの外に出すと、コントロールパネルで表示されなくなる。
.cpl(シーピーエル)	「コントロールパネル」のファイル。「コントロールファイル」を開いた時に、この拡張子のファイルが検索されて表示される。	ウインドウズ3.1時代のなごりで、今はほとんど使われていない。
.crd(カード)	ウインドウズ3.1に付属の「カードファイル」で作られた、データファイルにつけられる拡張子。	「サウンドブラスター」を使っていない場合、このファイルは存在しない。
.csp(シーエスピー)	米クリエイティブメディア社のオーディオ圧縮ファイルに付く拡張子。	アニメーションするカーソルファイルは「.ani」という拡張子が付けられる。
.cur(カーソル)	カーソルファイルに付けられる。マウスカーソルはこのファイルを元に表示される。	ファイルの中身は0バイトだが削除するとアプリケーションのアンインストール時に不具合が出る。一部のDLLファイルは「Rundll.exe」を使って実行可能。アプリケーションの一部。
.dir(ディーアイアール)	マイクロソフトのアプリケーションが作るディレクトリ情報ファイルに付く拡張子。	ほとんど見かけることはないが、まれにオンラインソフトが使用している場合がある。
.dll(ディーエルエル)	ダイナミックリンクライブラリ。プログラムにリンクする関数をまとめたファイル。	16ビット版は拡張子「.drv」に、32ビット版は拡張子「.vxd」になる。
.dpl(ディーピーエル)	「デルファイ・コンポーネント・パッケージ」ファイルに付く拡張子。	インターネットプロバイダが配布しているCD-ROMでまれに見かける。
.drv(ディーアールブイ)	ウインドウズ95で周辺機器などを使用するために組み込むファイルに付く。	「検索」を起動した時に、「検索条件を保存」を選ぶと作成される。これをデスクトップにおいておくとう便利。
.dun(ディーユーエヌ)	ダイヤルアップネットワークのエクスポートファイルに付く拡張子。	MS-DOSモードを一切使わない場合は削除不可能。
.fnd(エフエヌディ)	「検索」の条件を記録したファイルに付く拡張子。	
.fnt(フォント)	MS-DOSモードで使われるフォントファイルに付く拡張子。	

.fon(フォント)	ウインドウズ95で使用されるラスタ/ベクタフォントファイルに付く拡張子.	エクスプローラ上では、アイコンが赤くなっている.
.grp(グループ)	プログラムマネージャが参照するグループファイルに付けられる.	グループコンバータを使うと<スタート>メニューが再構成される.
.hlp(ヘルプ)	ウインドウズ3.1/95のヘルプファイルに付く拡張子.	ヘルプファイルが作るファイルに「.cnt」「.fts」「.gid」があるので、ヘルプを削除する時は一緒に削除しよう.
.ht(エイチティ)	ハイパーターミナルで通信条件を保管するために使用するために使用されるセッションファイルに付く拡張子.	ハイパーターミナルでプロバイダへの接続ファイルを作っておくとトラブル時に役に立つ.
.icm(アイシーエム)	「イメージ・カラー・マッチング」ファイルに付く拡張子. 特定のデバイスに依存することなく、色情報を処理をするためのサブシステム.	ウインドウズ95で参照しているのは、コダック社からライセンスを受けたアプリケーションだけのよう. 同じファイルでも「ICC」という拡張子が付くこともある.
.idc(アイディシー)	MS-IME97が参照する辞書ファイルのインデックスファイルに付けられる.	辞書ファイルに高速アクセスするために存在している.
.isp(アイエスピー)	「インターネット自動サインアップ」が使うプロバイダ情報ファイルに付けられる.	同ファイルには「.ins」という拡張子が付くこともある. ちなみにISPは「インターネットサービスプロバイダ」の略.
.isu(アイエスユー)	アンインストールプログラムが参照する情報ファイルに付けられる.	インストールした時の情報入っているので重要なファイル.
.kbd(キーボード)	ウインドウズ95のキーボードドライバファイルに付けられる拡張子.	不要なキーボードデータファイルがハードディスク内にあれば削除してしまうと、マルチメディア関連のデバイスを制御し、各デバイスの機能をウインドウズ95用アプリケーションに提供するプログラム、非常に重要.
.mci(エムシーアイ)	メディアコントロールインターフェースファイルに付けられる拡張子.	「ビジュアルベーシック」関連のファイル.
.ocx(オーシーエックス)	OLEカスタムコントロールファイル. 主に画面描画を行なうファイル用の拡張子.	
.olb(オーエルビー)	「ビジュアルベーシック」で作られたアプリケーションが使うプログラムファイルに付く.	「Visual Basic for Applications Object Library」が正式名称
.old(オールド)	文字どおり古いファイル. 新しいドライバをインストールした時に、古いファイルがこの拡張子にリネームされることがある.	ハードディスクの容量に困っていないならばそのままにしておこう. ドライバを復元する時に参照する場合があるから.
.pbk(ピービーケー)	電話番号情報ファイルに付く. ウインドウズがオンライン登録する時に参照する.	モデムなどがない環境ではこのファイルは不要.
.pdr(ピーディアール)	ハードウェアドライバに付く拡張子. IDEなどがこのファイルを使って、低レベルアクセスをしている.	削除不可能なファイルなので扱いに注意しよう.
.pol(ポリシー)	システムポリシーファイルに付く. ウインドウズ95の環境設定が定義されたファイル.	ポリシーファイルはウインドウズ95のセットアップCD-ROMの中にある.
.prt(ピーアールティ)	ファイルをプリントアウトする時に出力先をファイルにするとできるファイルに付く.	これを使えば自宅で作ったファイルを会社のプリンタで打ち出すこともできる.
.pwl(パスワードリスト)	パスワードファイル. ウインドウズ95のパスワードや、スクリーンセーバーのパスワードが保存されるファイル用の拡張子.	ウインドウズ95のセットアップCD-ROM内に入っている「Pwldedit.exe」を使えばパスワードの一括管理が可能.
.qic(クイック)	「マイクロソフト バックアップ」を使って作成するフォルダやファイルのバックアップファイルに付けられる.	「マイクロソフト バックアップ」を使わない人は削除可能.
.rat(ラット)	インターネットエクスプローラが使う、各種の制限をするファイルに付けられる.	ちなみに「rat」とはレーティングの略称.
.sbk(エスピーケー)	米クリエイティブメディア社が使うサウンドバンクファイル用の拡張子. 中身はソフトウェアMIDI用の音データ.	「サウンドブラスター」を使っていない場合、このファイルは存在しない.
.scp(エスシーピー)	ウインドウズ95のダイヤルアップ接続時に使われるスクリプトファイルに付く.	テキスト形式で記述されておりSLIP接続の時などに使用する.
.set(セット)	「マイクロソフト バックアップ」を使って一括システムバックアップを行なった場合に作成されるファイル用拡張子.	「マイクロソフト バックアップ」を使わない人は削除可能.
.shs(エスエイチエス)	スクラップファイルを作る時に付けられる拡張子.	拡張子「.shs」はOLEに対応したアプリケーションで使用可能.
.swp(スワップ)	仮想メモリが作るスワップファイルに付けられる.	スワップファイルを別ドライブに置く設定にすると少しばかり高速化する.
.sys(シス)	主にMS-DOSモード/プロンプトで使用される各種のデバイスドライバソフトの拡張子に使われるが、「Config.sys」のようなテキストファイルであったり、「logo.sys」のような画像ファイルのこともある.	「logo.sys」は中身がビットマップなので、「ペイント」で開くことができる. このファイルを差し替えるとオリジナルの起動画面が作れる.
.theme(テーマ)	「マイクロソフト プラス!」で使用されるデスクトップテーマのファイル壁紙・スクリーンセーバー・画面の配色・マウスポインタ・アイコン・サウンド・フォントなどの設定情報がまとまったもの. そのファイルに付く拡張子.	「マイクロソフト プラス!」を使わない人は不要.
.tlb(ティエルビー)	「ビジュアルベーシック」で作られたアプリケーションが参照するファイルに付く.	タイプライブラリファイル. 基本的に削除可能.
.tsk(タスク)	「ビジュアルベーシック」で作られたアプリケーションが参照するファイルに付く. 文字どおりサウンドなどをバックグラウンドで鳴らす時の制御ファイル.	これが壊れると、ウインドウズ95がまともに動作しなくなるので、トラブルの時はチェックするとよい. 非常に重要.
.ttc(ティティシー)	フォントファイルに付けられる拡張子. 「MS明朝」と「MS P 明朝」のように通常のツウルータイプフォントとプロポーショナルフォントが一緒になったもの.	アイコン表示は緑色になっている. ほとんどが日本語のフォント. 削除不可.
.url(ユーアールエル)	「インターネットエクスプローラ」のショートカットファイルに付く拡張子.	URLのアドレスやアクセス情報が入っている.
.vbx(ブイビーエックス)	「ビジュアルベーシック」で使用されるカスタムコントロールファイルに付く拡張子.	VBXファイルはメモリ使用量が多いので注意.
.vxd(ブイエックスディ)	仮想32ビットデバイスドライバソフトに付く拡張子.	実行プログラムから参照される非常に重要なファイル.
.xpc(ダブルピーシー)	「ワードパッド」で他のファイルフォーマットを読み込む時のヘッダーファイルに付く.	初期状態では「ライト」「マイクロソフト ワード6」のフォーマットファイルがインストールされている.

実行ファイル系拡張子

拡張子名(読み方)	拡張子の具体的な説明	マメ知識
.bat(バッチ)	テキスト形式で記述された命令を順次実行するファイル。	「Autoexec.bat」もバッチファイルの一種。使いこなせればウインドウズ95の処理も自動化できる。
.com(コム)	MS-DOSで使われていた実行ファイル。プログラムサイズ、データサイズ合わせて64キロバイト以下に限定されている。	ウインドウズ95を起動させるプログラム「Win.com」もこの仲間。
.exe(エグゼ)	もっともポピュラーな実行ファイル。アプリケーションの本体。プログラムサイズに制限がない。	自己解凍型の圧縮ファイルにこの拡張子が使われることがある。
.lik(リンク)	リンクファイル。ウインドウズのショートカットアイコンの実体はこのファイル。	デスクトップにショートカットアイコンを作りすぎるとリソース不足になるので注意が必要。
.pif(ピフ)	MS-DOS用プログラムで使用される定義ファイル。メモリ使用量やウインドウモード、フルスクリーンなどの情報を保持している。	プロパティ画面でMS-DOSモードの細かい設定が可能。

テキストファイル系拡張子

拡張子名(読み方)	拡張子の具体的な説明	マメ知識
.csv(シーエスブイ)	表計算やデータベースソフト間でデータ交換を行うためのデータファイルにつけられる拡張子。	身近なところでは「MS Excel」が読み書きともに対応している。「メモ帳」などのアプリケーションでテキストファイルを作り、「Excel」などのアプリケーションで加工するといったテクニックが使える。
.doc(ドッグ)	「.txt」と同じくテキストファイルにつけられる拡張子。	「ワードパッド」などに関連付けされている場合もある。
.slk(シルク)	最近はあまり使われていないが、「.csv」と同じくアプリケーション間で表計算のデータ交換を行なうためのデータファイル。	各データが、タブコードで区切られている。「MS Excel」にも対応。
.dif(ディフ)	データ交換を行うためのデータファイルにつけられる拡張子だが、特殊な記述方法を使っているため、対応アプリケーションは少ない。	ひとつのセル内の情報が複数行にわたって記録されている。また作成アプリケーション情報なども保存されている。
.def(デフ)	様々なアプリケーションの動作環境が含まれた定義ファイルの場合が多い。	MS-DOS時代に使われていた「Vzエディタ」アプリケーションでも定義ファイルにはこの拡張子がついている。英語の「Define(定義)」からきている。
.log(ログ)	アプリケーションのインストール情報や、ウインドウズ95の動作情報が記録されたファイル。サンプルファイルなどにつけられる拡張子。	ウインドウズ95はログを記憶する場合、この拡張子か「.txt」を使うことが多い。
.sam(サム)	中身はテキストテキスト形式。この拡張子は「Sample」を略したものからきている。	ウインドウズ95のシステムには、ネットワーク設定を行う「Hosts.sam」,「Lmhosts.sam」がはいっている。
.txt(テキスト)	様々な情報が書き込まれているテキストファイル。世の人々にも最早をノーマンズランド、この形式で保存するのは、この環境でも同じです。	ウインドウズ95では「メモ帳」に関連付けられているファイル。
.reg(レジストリ)	レジストリエディタで書き出したレジストリデータにつけられる。中身はテキストファイル。	レジストリは本来バイナリデータだが、レジストリエディタでテキスト文書データに変換することができる。
.inf(インフォ)	ウインドウズ95で使われる各種の設定情報が入っているファイル。周辺機器のドライバソフトのインストールにも利用される。	自分で制作することも可能だが、難しいので自信がないならファイルを編集しようと思わないほうが安全。
.ini(イニ)	16ビットアプリケーションが使う設定ファイル。32ビットアプリケーションの中にも使用するものがある。	「Win.ini」のiniファイルのひとつだが、ウインドウズ95の設定ではレジストリが優先される。これは16ビットアプリケーションとの互換性を保つためのもの。

その他の拡張子(複数の意味を持つ拡張子)

拡張子名(読み方)	拡張子の具体的な説明	マメ知識
.bin(ビン)	バイナリデータファイル。ドライブスペースが使うファイルにもこの拡張子がある。	バイナルファイルには慣用的にこの拡張子が付く。
.cfg(コンフィグ)	コンフィグレーションの略。バイナリファイルやテキストファイルのものがあ、主に設定ファイルとして使われる。	どれもシステムやアプリケーションが使用するファイルだが、ユーザーが直接編集する機会はまずない。
.dat(データ)	通常バイナリで書かれたデータファイル。ウインドウズ95のレジストリ本体もこの拡張子もしよう。	アクティブムービーをインストールすると、ファイルタイプがかわってしまうので注意しよう。
.dic(ディク)	[MS IME97]などの漢字変換システム用の辞書ファイルや、様々なアプリケーションの辞書、もしくはデータファイルに使われる拡張子。	普通はバイナリファイルだが、アプリケーションによってはテキストファイルのばわいもある。
.dok(ドク)	16ビットのドライバソフトや、MS-DOSからウインドウズ95を上書きアップデートした場合は、旧バージョンのMS-DOSファイル[Msdosssys]などがウインドウズ95の起動時にバックアップされる時に付く拡張子。	中身を確認するために「送る」メニューや、右クリックに「メモ帳」を入れておくと便利。
.mod(モジュール)	ウインドウズ95ではMS-DOSモードの表示を管理しているファイル。	どれもシステムに関連するファイルなのでそのままにしておこう。
.msg(メッセージ)	メッセージファイル。拡張子「. 932」の英語版。もしくは、「受信トレイ」が使うメッセージファイル。	「アミーガ」というパソコンで使われていたサウンドファイルも同じ拡張子を持つ。
.sys(シス)	主にMS-DOSモード/プロンプトで使用される各種デバイスドライバソフトの拡張子に使われるが、「Config. sys」のようなテキストファイルであったり、「Logo. sys」のような画像ファイルの時もある。	[Net. exe]を削除することがあるなら、これも一緒に削除しよう。
.scr(エスシーアール)	ウインドウズ95で使用されるスクリーンセーバーのファイルや、ネットワークアクセス時のスクリプトファイルに付けられる。	[Logo. sys]は中身がビットマップなので、「ペイント」で開くことがある。このファイルを差しかえるとオリジナルの起動画面が作れる。スクリーンセーバーファイルは直接実行できる。ファイル名の拡張子を「. exe」に変更して、ショートカットファイルのプロパティの「リンク先」欄のファイルの後、「(半角あき)」/s」をオプションを付けるとスクリーンセーバーが起動する。

最重要ファイル(バックアップしておきたいファイル)

各種設定関連

ファイル名	ファイルの場所
*.vxd	system,system¥vmm32,system¥iosubsys
*.drv	system,system¥iosubsys
*.386	system
win.ini	windows
system.ini	windows
system.da0	windows
user.da0	windows
system.dat	windows
user.dat	windows
*.pwl	windows
*.wab	windows

実行ファイル関連

ファイル名	ファイルの場所
control.exe	windows¥system
explorer.exe	windows¥system
pontreg.exe	windows¥system
imedpsub.exe	windows¥system
redir32.exe	windows¥system
regsvr32.exe	windows¥system
rundll.exe	windows
rundll32.exe	windows
win.com	windows
winhlp32.exe	windows
winver.exe	windows
winlssub.exe	windows¥system

システム関連DLL

ファイル名	ファイルの場所
awkrnl32.dll	windows¥system
acchevu.dll	windows¥system
comcat.dll	windows¥system
comctl32.dll	windows¥system
comdlg32.dll	windows¥system
commctrl.dll	windows¥system
deskcp16.dll	windows¥system
diskcopy.dll	windows¥system
dispdib.dll	windows¥system
fontext.dll	windows¥system
gdi32.dll	windows¥system
kernel32.dll	windows¥system
msprint.dll	windows¥system
msprint2.dll	windows¥system
pifmgr.dll	windows¥system
selfreg.dll	windows¥system
shell.dll	windows¥system
shell32.dll	windows¥system
user32.dll	windows¥system
ver.dll	windows¥system
version.dll	windows¥system
win32s16.dll	windows¥system

その他のDLL

ファイル名	ファイルの場所
asycpict.dll	windows¥system
awbmsc32.dll	windows¥system
mmsystem.dll	windows¥system
winmm.dll	windows¥system